令和４年度
下水道に関する事故発生状況について
（令和４年 11 月末時点）

１．　人身事故（総括）

２．　維持管理作業事故

３．　工事事故

４．　水質事故等

国土交通省　水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故（総括）

（令和4年11月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	11月までの集計	年度合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					0 (1)	0 (1)
	2. 負傷事故	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (3)	1 (2)					22 (24)	22 (38)
	合計	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (4)	1 (2)					22 (25)	22 (39)
	累計	0 (4)	4 (5)	7 (9)	12 (10)	14 (18)	17 (19)	21 (23)	22 (25)					－	－
工事	1. 死亡事故	0 (0)	2 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)					5 (4)	5 (6)
	2. 負傷事故	4 (8)	4 (5)	2 (5)	7 (1)	6 (6)	8 (13)	7 (6)	8 (8)					46 (52)	46 (83)
	合計	4 (8)	6 (5)	2 (6)	10 (1)	6 (7)	8 (13)	7 (7)	8 (9)					51 (56)	51 (89)
	累計	4 (8)	10 (13)	12 (19)	22 (20)	28 (27)	36 (40)	43 (47)	51 (56)					－	－
合計	1. 死亡事故	0 (0)	2 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)					5 (5)	5 (7)
	2. 負傷事故	4 (12)	8 (6)	5 (9)	12 (2)	8 (14)	11 (14)	11 (9)	9 (10)					68 (76)	68 (121)
	合計	4 (12)	10 (6)	5 (10)	15 (2)	8 (15)	11 (14)	11 (11)	9 (11)					73 (81)	73 (128)
	累計	4 (12)	14 (18)	19 (28)	34 (30)	42 (45)	53 (59)	64 (70)	73 (81)					－	－

※下段（）書きは前年度（令和3年度）の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.維持管理作業事故

（令和4年11月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	0 (1)	2 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (3)	2 (0)	3 (1)	0 (1)					10 (7)
	2. 政令市	0 (2)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (1)					3 (10)
	3. 一般市	0 (0)	0 (1)	1 (2)	4 (0)	1 (3)	1 (0)	1 (1)	1 (0)					9 (7)
	4. 町村	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	合計	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (4)	1 (2)					22 (25)
発生施設	1. 管渠	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)					1 (1)
	2. マンホール	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)					3 (3)
	3. 処理場	0 (2)	0 (1)	2 (4)	1 (0)	1 (6)	2 (0)	3 (3)	1 (2)					10 (18)
	4. ポンプ場	0 (0)	3 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					4 (2)
	5. その他	0 (1)	1 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)					4 (1)
	合計	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (4)	1 (2)					22 (25)
事故類型	死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					0 (1)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					0 (1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	14. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	負傷事故	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (3)	1 (2)					22 (24)
	1. 墜落・転落	0 (1)	2 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (1)	2 (0)	1 (0)					6 (5)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (1)	1 (0)	1 (1)	3 (1)	0 (3)	1 (0)	0 (1)	0 (2)					6 (9)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)					1 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)					2 (2)
	5. 転倒	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (0)	0 (1)	0 (0)					1 (4)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					2 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	12. 公衆災害	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					1 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	14. その他	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)					3 (4)
	合計	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (4)	1 (2)					22 (25)

（単位：人）

被災者数	1. 自治体職員	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)					4 (2)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	②負傷	0 (1)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)					4 (2)
	2. 委託先業者	0 (3)	3 (1)	3 (4)	2 (1)	2 (8)	2 (1)	4 (3)	1 (2)					17 (23)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					0 (1)
	②負傷	0 (3)	3 (1)	3 (4)	2 (1)	2 (8)	2 (1)	4 (2)	1 (2)					17 (22)
	3. 第三者	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					1 (0)
	①死亡	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	②負傷	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					1 (0)
	合計	0 (4)	4 (1)	3 (4)	5 (1)	2 (8)	3 (1)	4 (4)	1 (2)					22 (25)
	累計	0 (4)	4 (5)	7 (9)	12 (10)	14 (18)	17 (19)	21 (23)	22 (25)					－ －

※（ ）書きは、前年度（令和3年度）の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

維持管理作業事故情報データベース

令和4年11月末時点

NO.	発生年月日	事故情報			事故概要・発生防止策		被災者			
		事業主体	発生施設	事故類型	事故概要	再発防止策等	被災者	年齢	性別	被害状況
11月										
1	R4.11.25	3. 一般市	処理場	①墜落・転落	処理場内において、日常巡視点検中の作業員が反応水槽の酸素濃度を測定するため、水槽のグレーチング蓋を外した際、バランスを崩しグレーチング蓋とともに槽内（水温17度）に転落した。近隣住民が救助を求める声に気づき救急車を手配し、救助された。被災者は救助後、嘔吐するなど胃の不快感があり、その後、3日間程度、胃のむかつき等による不快感が続いたが、事故発生から一週間後の血液検査等で異常なしと診断を受けた。	・委託業者全職員の安全教育を実施。 ・反応水槽のグレーチング蓋を点検小窓付きの蓋に交換し、今後の酸素濃度の測定作業は小窓から実施に作業手順を変更。 ・落下の恐れなどがある作業実施時には複数名での作業を徹底するよう、下水道管理者から委託業者へ指導を実施。	委託先業者	54	男	あご擦傷、低体温症の疑い

：死亡事故　：負傷事故

3.工事事故

（令和4年11月末時点）

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	2 (0)	0 (1)	1 (1)	4 (1)	0 (2)	1 (2)	3 (1)	2 (0)					13 (8)
	2. 政令市	3 (6)	3 (3)	2 (4)	4 (4)	2 (9)	2 (9)	1 (3)	1 (0)					18 (38)
	3. 一般市	2 (4)	5 (2)	1 (2)	5 (0)	4 (2)	5 (7)	4 (3)	6 (11)					32 (31)
	4. 町村	1 (0)	0 (0)	0 (2)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)					5 (2)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					1 (1)
	合計	8 (10)	8 (6)	5 (9)	14 (5)	7 (13)	9 (18)	8 (8)	10 (11)					69 (80)
工事分類	1. 管きょ開削	4 (6)	6 (2)	3 (8)	7 (4)	2 (7)	7 (12)	6 (6)	6 (6)					41 (51)
	2. 管きょ推進	1 (1)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (2)					7 (7)
	3. 管きょシールド	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)					4 (1)
	4. 管きょその他	2 (2)	0 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)	2 (2)					6 (8)
	5. 処ポ土木建築	0 (1)	1 (1)	1 (0)	2 (0)	1 (2)	0 (1)	1 (0)	0 (0)					6 (5)
	6. 処ポ機械電気	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	1 (1)	0 (3)	0 (1)	1 (0)					5 (5)
	7. 処ポその他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (3)
	合計	8 (10)	8 (6)	5 (9)	14 (5)	7 (13)	9 (18)	8 (8)	10 (11)					69 (80)
事故類型	死亡事故	0 (0)	2 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)					5 (4)
	1. 墜落・転落	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (1)
	2. はさまれ・巻き込まれ	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)					1 (2)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	4. 切れ・こすれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	5. 転倒	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	6. 激突	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	7. 土砂崩壊	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	8. 交通事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)					0 (1)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	12-1. 公衆災害（人身）	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	14. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					4 (0)
	負傷事故	4 (8)	4 (5)	2 (5)	7 (1)	6 (6)	8 (13)	7 (6)	8 (8)					46 (52)
	1. 墜落・転落	1 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (1)	1 (0)	2 (3)	2 (0)	0 (0)					9 (4)
	2. はさまれ・巻き込まれ	1 (3)	2 (4)	0 (2)	3 (0)	3 (1)	0 (4)	4 (3)	2 (0)					15 (17)
	3. 飛来・落下	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)					1 (1)
	4. 切れ・こすれ	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (0)	1 (0)					4 (4)
	5. 転倒	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (2)					3 (5)
	6. 激突	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					1 (1)
	7. 土砂崩壊	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	1 (1)					3 (4)
	8. 交通事故	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (1)					3 (3)
	9. 感電	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	10. おぼれ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	11. 火災・爆発	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	12-1. 公衆災害（人身）	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)	0 (3)	2 (2)					5 (6)
	13. 作業車両の横転	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (1)
	14. その他	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	2 (1)	0 (0)	0 (2)					2 (6)
	物損事故	4 (2)	2 (1)	3 (3)	4 (4)	1 (6)	1 (5)	1 (1)	2 (2)					18 (24)
	12-2. 公衆災害（物損）	4 (2)	2 (1)	3 (3)	4 (4)	1 (6)	1 (5)	1 (1)	2 (2)					18 (24)
	合計	8 (10)	8 (6)	5 (9)	14 (5)	7 (13)	9 (18)	8 (8)	10 (11)					69 (80)

（単位：人）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数	1. 死亡	0 (0)	2 (0)	0 (1)	3 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)					5 (4)
	2. 負傷	4 (8)	4 (5)	2 (5)	7 (1)	6 (6)	9 (13)	7 (6)	8 (8)					47 (52)
	合計	4 (8)	6 (5)	2 (6)	10 (1)	6 (7)	9 (13)	7 (7)	8 (9)					52 (56)
	累計	4 (8)	10 (13)	12 (19)	22 (20)	28 (27)	37 (40)	44 (47)	52 (56)					－ －

※（ ）書きは、前年度（令和3年度）の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

工事事故情報データベース

令和4年11月末時点

NO.	発生年月日	事業主体	工事分類	従事作業	事故概要	発生場所	事故類型	被災者 年齢	被災者 性別	被災者 被害状況
11月										
1	R4.11.7	3.一般市	1.管きょ開削	—	下水道工事に伴い、施工業者が工事現場周辺に現場事務所(兼資材置き場)を設け、その出入りで通行する歩道(インターロッキングブロック)を養生するため、敷鉄板を設置していたところ、敷鉄板にスリップ対策を実施していなかったため、自転車で走行中の男性がその敷鉄板でスリップして転倒し、左足を骨折した。	現場外	12-1.公衆災害(人身)	85	男	左足骨折
2	R4.11.10	3.一般市	4.管きょその他	ボーリング調査	地質調査(ボーリング調査)において、深度23mを掘進後、標準貫入試験実施のため、削孔ロッドを引上げたところ、誤ってロッドを下降させる操作を行い、ロッドが落下して、左手中指が挟まれ損傷(切断)した。	現場内	4.切れ・こすれ	41	男	左手中指爪元切断
3	R4.11.16	3.一般市	1.管きょ開削	埋戻し	開削工事において、簡易土留め背面に亀裂が入っていたため緩んだ土砂を除去しようと、上段の簡易土留めを外し土砂を除去したが亀裂が深くすべて除去できなかった。そのため、下段の簡易土留めを外そうと作業員が掘削断面内に入り、捨梁を外しバックホウで土留めを引き抜いたところ法肩が崩壊し、中にいた作業員に土砂が覆いかぶさり、被災した。	現場内	7.土砂崩壊	72	男	額と顎の裂挫創および全身打撲
4	R4.11.17	2.政令市	1.管きょ開削	掘削	下水取付管の入替のため、バックホウで掘削作業を行っていたところ、ガス本管のマーキングは確認していたが、注意を怠り、バックホウでガス本管(φ75mm)を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	—	—	ガス管の破損
5	R4.11.19	1.都道府県	1.管きょ開削	掘削	汚水ます及び取付管撤去新設箇所において、手掘りで掘削した土砂をバケットに積込み、ダンプトラックへ積込むためバケットを持ち上げた際に、誤ってガス供給管(φ30mm)を損傷させた。	現場内	12-2.公衆災害(物損)	—	—	ガス管の破損
6	R4.11.21	4.町村	3.管きょシールド	切削	舗装の切削作業を完了し、切削機の片づけのため、ベルトコンベアーを収納しようとしたが、動作が上手くいかずに収納しきれなかった。オペレーター2人が無線で連絡を取り合いながら、ゴミやボルト緩み等の外的・機械的要因がないか確認していたところ、急に収納機能が作動し、動作に気付いた作業員が慌てて右手を引いたが間に合わずに右中指を損傷した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	65	男	右中指指尖部損傷
7	R4.11.21	3.一般市	1.管きょ開削	掘削	開削した掘削底面で作業員が水替作業をしていたところ、掘削底面に露出した粘性土で足を滑らせて転倒した。	現場内	5.転倒	53	男	骨盤輪骨折
8	R4.11.24	1.都道府県	6.処ポ機械電気	—	元請の担当技術者が手すりを使わずに片手に小型看板を持ちながら、枠組足場の階段を登っていたところ、階段の踏み板を踏み外し、ステップの間に足を挟んだ状態で後方に転倒した。	現場内	5.転倒	41	男	右脛骨課間隆起骨折
9	R4.11.28	3.一般市	4.管きょその他	—	片側交互通行による交通規制に伴い、仮停止線及び一時停止看板(道路中央の街きょブロック上に設置)を設置していたところ、自転車で車道上を走っていた通行人が一時停止看板に衝突して転倒し、被災した。事故当時、交通誘導員は通行人に対して停止の合図を出したが、通行人は無視して止まらずに看板に衝突した。	現場外	12-1.公衆災害(人身)	60	男	右手負傷
10	R4.11.28	3.一般市	1.管きょ開削	舗装版取り壊し	ダンプトラックの後方でバックホウが舗装版の取り壊し作業中、下請けの現場代理人がバックホウとダンプトラックの間で写真撮影の準備をしていたところ、後退してきたバックホウの排土板とダンプトラックの荷台に挟まれ、被災した。	現場内	2.はさまれ・巻き込まれ	37	男	後腹膜血種、第3・4腰椎左横突起骨折、第4腰椎棘突起骨折

:死亡事故　:負傷事故　:物損事故

4.水質事故等
（令和4年11月末時点）

[総括]

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等　合計	3 (2)	5 (3)	6 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (6)	3 (7)	3 (2)					26 (28)
	累計	3 (2)	8 (5)	14 (6)	17 (8)	20 (13)	20 (19)	23 (26)	26 (28)					–

[内訳]

（単位：件）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)					4 (5)
	2. 政令市	2 (0)	3 (2)	2 (0)	1 (0)	0 (2)	0 (3)	1 (3)	0 (0)					9 (10)
	3. 一般市	0 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (2)	0 (3)	2 (2)	2 (1)					11 (13)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)					2 (0)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	合計	3 (2)	5 (3)	6 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (6)	3 (7)	3 (2)					26 (28)
発生施設	1. 管渠	1 (2)	1 (1)	4 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (4)	2 (3)	1 (0)					11 (11)
	2. マンホール	0 (0)	1 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (1)	0 (2)	1 (0)					2 (7)
	3. 処理場	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)					5 (5)
	4. ポンプ場	1 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (0)	0 (0)					5 (3)
	5. その他	0 (0)	0 (1)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)					3 (2)
	合計	3 (2)	5 (3)	6 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (6)	3 (7)	3 (2)					26 (28)
原因者	1. 下水道管理者（委託先含む）	3 (0)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (2)	0 (1)	0 (3)	1 (0)					7 (7)
	2. 民間事業者（一般人を含む）	0 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (0)	1 (1)	0 (1)	2 (1)	1 (0)					8 (7)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	0 (0)	3 (1)	4 (0)	1 (2)	1 (2)	0 (4)	1 (3)	1 (2)					11 (14)
	合計	3 (2)	5 (3)	6 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (6)	3 (7)	3 (2)					26 (28)
事故類型	① 悪質下水の流入（放流水質が基準に不適合）	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					3 (0)
	② 悪質下水の流入（放流水質が基準に適合）	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					3 (0)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)					1 (4)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	3 (2)	1 (0)					4 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	1 (0)	3 (1)	2 (1)	1 (3)	0 (1)	0 (3)	2 (0)					11 (10)
	⑥ その他事故（①～⑤以外の事故）	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)					0 (3)
	水質事故　合計	3 (2)	3 (1)	4 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (4)	3 (6)	3 (1)					22 (22)
	その他案件	0 (0)	2 (2)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)					4 (6)
	水質事故等　合計	3 (2)	5 (3)	6 (1)	3 (2)	3 (5)	0 (6)	3 (7)	3 (2)					26 (28)
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)					0 (2)
	② 耐用年数以内	1 (1)	0 (2)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (3)	0 (3)	2 (0)					6 (10)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)					0 (0)
	合計	1 (1)	0 (2)	2 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (4)	0 (4)	2 (0)					6 (12)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計
※（ ）書きは、前年度（令和3年度）の値
※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

令和4年11月末時点

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	事故への対応
11月							
1	R4.11.10	3.一般市	その他	水質事故	④雨水管からの悪質下水の流出	民間ホテル内において、重油のメインタンクから機械室のサブタンクへ自動給油される際、サブタンク側の満油時自動停止スイッチの故障により、上限を超えて給油されたため溢れた重油が防油槽に流れた。本来であれば防油槽で留まるところが、防油槽にクラックがあり、クラック部より染み出た重油が、防水槽横に設置してあった排水管掃除用の桝を通じて、下水管に流入した。	・緊急対応として、処理場内の沈殿池にオイルマットを設置し重油の吸着除去を実施。 ・事故原因者へ施設修繕を指示し、排水管掃除用桝の高さかさ上げを実施した。
2	R4.11.18	3.一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	市民から道路上に汚水が流出しているといった市役所への連絡を受け、職員が現地調査を実施し汚水流出を確認した。 現地掘削を行ったところ、管路が破損しており、汚水が漏水していることが判明した。	・緊急対応として、当該破損管路に接続するポンプ場からの流入ゲートを閉鎖。 ・管路破損の記者発表、ホームページ、広報車、有線放送による対象区域住民等への水道等使用自粛のお願いを実施。 ・詳細原因調査中。再発防止策を検討中。
3	R4.11.27	4.町村	マンホール	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	町民から道路上に汚水が流出しているといった町役場への連絡を受け、職員が現地調査を実施したところ、マンホールポンプのマンホールから汚水が溢水しているのを確認した。 事故原因を調査したところ、当該マンホールポンプは、制御盤の原因不明の不具合により汚水の流下機能が停止していたことが分かった。	・緊急対応として、町が委託している運転管理業者へ連絡し、現地状況を確認したところ、一時的にマンホールポンプの自動運転が作動したため汚水の流下機能が停止していることが判明した。このため、強制運転に切り替え汚水排水を再開し、現地の清掃消毒を実施した。 ・停止した原因は制御盤の一時的な基盤異常と考えられることから、制御盤の交換を実施した。 ・再発防止対策として、基盤異常による運転停止時において、管理システムで異常を感知できるようシステム改修を計画する。